



もう傷を作らない 同僚と新しい技術を共有する

Åsa Nilssonは、海外展開も行っている高合金工具鋼のメーカー Uddeholm (ウデホルム) で9年間品質管理に携わっています。研磨知識を高めることが、仕事の質と組織能力の両方に大きく役立つことを知っています。

そこで、Åsa は同僚の2名と、ストルアスのトレーニングコースに申し込みました。: [The Professional Materialographer \(材料組織上級者コース\) \(TPM\)](#)

課題: エッチングとハーフムーン型の傷

Åsa は、2016年から2019年の間に材料組織の基礎と上級のトレーニングを受け、様々な課題に取り組んできました。そして、硬化した鋼を研磨、エッチングするとハーフムーンクラッチが出てしまうことが課題でした。また、自動試料作製装置「[ヘキサマティック](#)」を使って試料作製方法を最適化する方法を学ぶトレーニングに参加し、今はチームの材料組織に関する知識を広げる取り組みを行っています。

「必要なサポートが準備されています」

Åsa が TPM トレーニングで最も良かったと思える点は、微細構造検査に必要な機器がすべてそろったショールームで自分のサンプルを試せることでした。設備も重要でしたが、本当に役立ったのは、[ストルアスのアプリケーションスペシャリスト](#)から多くの情報を得ることでした。

「自分の材料組織分析方法を見てもらい、その場で修正点を指摘してもらえるのは、非常に素晴らしい機会でした。ストルアスのアプリケーションスペシャリストの情報はとてもユニークでした。必要なサポートはすべて準備されていました」

課題

作製した試料にハーフムーン形の傷ができる。自分のチームには、材料組織分析のトラブルシューティングができる能力のある人材が少なすぎる。

解決策

3名がストルアスのトレーニングコースの TPM の初級と TPM 上級に参加し、知り得た新しい知識を同僚と共有しました。

結果

再現可能な試料作製方法が確立され、組織内でのトラブルシューティング能力が大幅に向上しました。

将来的な課題を解決する基盤が整っています

Åsa は、トラブルシューティングが日常業務の一部であるユーザーに、TPM 上級コースを勧めています。このコースは、様々な目的のために様々な材料で試料製作する、経験豊富なユーザーが対象です。

Åsa は、同じ課題を持った別の担当者と出会えることも、TPMコースのメリットだと話しています。



Åsa Nilsson の課題の 1 つは
研磨後に半月型の傷ができることでした。

“ ストルアスのアプリケーションスペシャリストの情報はとても独特でした。必要な手助けはすべて準備されていました。

Åsa Nilsson

ストルアス社に連絡する

Uddeholm AB について

[Uddeholms AB](#) は、スウェーデンのハグフォルスに生産設備を持ち、海外展開も行っている高合金工具鋼のメーカーです。1991年に、オーストリアのベラー・ウデホルム・グループの傘下となり、2007年からは Voestal-Pine AG グループの傘下になりました。Uddeholms AB は、スウェーデンのハグフォルスに 800 名の従業員がいます。世界規模では、Uddeholm グループの従業員は 3,000 名です。

Struers TPM 初級

これは、切断から顕微鏡検査まで、理論的および実用的な観点からあらゆる微細構造検査について学ぶトレーニングコースです。このトレーニングには、講義とラボでの実習が含まれ、参加者は自社のサンプルを持ち込んで作業することができます。

Struers TPM 上級

これは、材料組織分析における一般的な課題を解決することを重視したトレーニングコースです。このトレーニングには、トラブルシューティングの方法の講義と、参加者が通常の業務で抱えている問題、および試料に焦点を当てた実践的な作業が含まれています。

詳細は、struers.com/academy をご覧ください。